

第2学年2組 生活科学習活動案

平成18年7月3日(月)

授業者 松本 充恵子

男子11名 女子16名 計27名

1 単元名 生きもの大すき

2 目標

- (1) 生き物の育つ場所、変化や成長の様子に関心を持ちながら、生き物に親しみをもって世話をすることができる。
- (2) 生き物が住んでいた場所を振り返ったり、生き物が好む環境を調べたりしてすみかを作り、飼育して思ったことや感じたことを表現することができる。
- (3) 生き物の世話をすることを通して、生き物も自分と同じように、命を持っていることや成長していることに気づくことができる。

3 単元について

(1) 児童の実態

2年生になってからの生活科では、1年生の秋に植えたチューリップの観察から始まり、つるり里芋の苗植え、水かけ、草取り、一人一鉢の花植えなど、栽培活動を中心に行ってきた。6月に入り、クラスの女の子がおたまじゃくしを持ってきてくれた。それをきっかけに、食べ物を調べたり、水槽の掃除をしたりする子どもが見られるようになった。「ビオトープにアメンボいだけ。」「やご見つけた。」「鳥のひな、いだけ。」などと、生き物を見つけると教えてくれる子どもたちである。

子どもたちへのアンケートでは、ほとんどの子どもが、生き物をつかまえたり育てたりしたことがあり、つかまえたり育てたりすることが好きと答えている。しかし、自分で責任を持って世話をしたり、様子を詳しく観察したりする経験は、少ないようであった。

(2) 単元の設定理由

身近な田んぼや畑に生き物が見られ、子どもたちが捕まえて遊ぶ姿が見られるようになってきた。子どもたちにとって、身近な虫や生き物などを捕まえたり飼育したりする活動は、興味関心を持って意欲的に取り組んでいける活動である。

この単元の活動は、生き物に関わっていく中で、友だちや自然とふれあうことの楽しさを味わうことができる。また、直接手で触れて世話をし育てていく活動により、子どもたちに生き物の気持ちを考えさせたり、成長の様子に気づかせたりしていくことができる。身の回りにいる生き物にも自分と同じ命があることに気付かせ、生き物を大切にする気持ちを持たせるのに適した単元であると考えた。

(3) 活動の手立て

本単元では、まず、自分の身近にいる生き物を紹介し合い、見つけた生き物を地図にはっていき。生き物マップを作ることで、身近な生き物に対する関心を強く持たせたい。そこから、捕まえたいという意欲をもたせ、捕まえに行く計画をたてていく。

捕まえた生き物をどうするか、子どもたちで話し合いをさせる。飼い方などは自分たちで調べさせ、工夫させていきたい。生き物を飼育する場所を「なかよしランド」と名づけ、すみか作りにめあてをもたせる。1年生にも見せてあげたいという気持ちをもたせ、意欲的に活動ができるようにする。

世話をしていくときには、観察カードや生き物紹介カードなど、書く活動も取り入れ、思いや気づき表現させていく。また、活動の振り返りの時間を設け、生き物と関わって気づいたことや友だちに伝えたいことなどを発表する場面を設定していく。

飼育するにあたっては、生活科で捕まえたものだけでなく、家に帰ってから捕まえて子どもたちが持ってきてくれたものも世話をしていき、いろいろな生き物と関われるようにしていきたい。

(4) 学校研究との関わり

「生き物との関わりの方の設定と工夫」

- ・ 自然環境の中にいた生き物を飼育するときには、生き物にとって住みやすい環境を整えてやる必要がある。子どもたちが生き物のすみかを作ろうとしたとき、図鑑などを見ることだけに頼らず、「生き物が生きていた場所」を振りかえさせ、その場所をよく見つめることを重視していく。
- ・ 実際に飼育してみれば、今まで気付かなかった生き物の特徴を発見することができる。成長・食物摂取・排泄・産卵・死など様々なことが起こり、生き物の対する優しさ・喜び・驚き・悲しみなどを体験することができる。そこから、生きていることを実感し、生と死、自分と自然との関わりなどに気付いていけるようにする。
- ・ 子どもたちが何気なく口にする生き物への語りかけや気付きの言葉を大切にし、人間と同じ命ある生き物に親しみを持つことのすばらしさを、他の子へも広げていきたい。
- ・ 飼育していく途中で、生き物を死なせてしまうなどということも起こりうる。人間が育てていくのには限界がある場合もある。そんな時、今後生き物をどうすればいいのかを、子どもたちと話し合っていく。生き物によっては、自然の中に戻すことも命を守ることになることに気付かせていきたい。うまく飼育できた生き物についても、一定の期間が過ぎたら生き物をどうしていくか、どうすることが生き物にとって幸せなことなのかを子どもたちに考えさせていきたい。

4 活動計画（8時間）

次	学 習 活 動	○教師の主な支援 評価
1 （2時間）	<p>家の周りやビオトープ、校庭などで見つけた生き物を紹介しあい、生き物を捕まえに行く計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が見つけた生き物を生き物マップに表示する。 ・場所や日時、持ち物などについて話し合う。 ・安全上注意しなくてはいけないことをしっかり確かめる。 	<p>○教師がマップを準備し、子どもたちが発表したものをはっていき。</p> <p>○身近な所にたくさんの生き物がいることに気づかせていく。</p> <p>○教師が事前に情報を把握しておき学習展開に合わせて子どもと共に今後の活動を計画する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>生き物が住んでいる場所を考えて、捕まえ方や準備するもの考えることができる。</p> </div>
2 （2時間）	<p>生き物探しに行く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準備した道具を持ち、安全に注意して、協力して生き物を捕まえる。 	<p>○行き帰りの安全指導をしっかりと行う。</p> <p>○捕まえられない子にはアドバイスをし、一緒に活動する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>友だちと協力して生き物を捕まえることができる。</p> </div>
3 （本時2 / 2）	<p>生き物の飼い方を話し合ったり、調べたりしてすみかを作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飼育する上で必要なものを調べ準備する。 ・友だちと協力してすみかを作る。 	<p>○図鑑で調べるだけでなく、住んでいた場所を振りかえることを大切にする。</p> <p>○友だちと協力して活動できるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>友だちと協力して、生き物のすみかを作ることができる。</p> </div>
4 （2時間）	<p>「なかよしランド」をひらく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作ったすみかをなかよしランドに集めて、みんなで世話をしていく。 ・紹介カードを書いて、みんなに見てもらえるようにする。 ・観察カードに気づいたことを書く。 ・生き物を今後どうしていくか話し合う。 	<p>○「なかよしランド」というコーナーを設け、飼育の意欲を高めていく。</p> <p>○紹介カードや観察カードを書き、生き物に対する思いや気づきを表現させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>継続的に世話をすることを通して、生き物も自分と同じ命を持っていることや成長していることに、気づくことができる。</p> </div>

5 本時の学習

(1) 本時の目標

生き物の住んでいた場所をもとに生き物が住みやすいすみかを考え、友だちと協力してすみかを作ることができる。

(2) 本時の展開

学 習 活 動	教師の支援 (○). 評価
<p>1 グループごとに、今日の活動の確認をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おたまじゃくしのすみかを作ります。 ・かたつむりが喜ぶようなすみかを作ります。 ・友だちと協力して作ります。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>友だちと協力して、生き物が住みやすいすみかを作ろう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○前時のうちに、すみかに必要なものをグループごとに考えさせておき、図や絵に表しておく。 ○今日の活動は何をするのか、グループごとにめあてをしっかりと確認させる。 ○安全面の指導を行う。
<p>2 グループごとにすみかを作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・草を入れたほうが喜ぶかな。 ・ピオトープの池から、水をくんでこようよ。 ・土を入れたほうがいいね。 ・木の枝はあるかな。 ・あとどうすればいいのかな。 ・○○ちゃん、手伝って。 	<ul style="list-style-type: none"> ○どんなところに住んでいたのかを振りかえさせながら、生き物が喜ぶすみかを作るように助言する。 ○外での活動なので、敷地内に入ってきた車など、安全面に気を配る。 ○友だち同士の教え合いや助け合いができるように、声がけしていく。
<p>3 活動を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かたつむりが隠れるところもがんばって作りました。 ・いろいろな草を集めてきました。 ・○○君に教えてもらってうれしかったです。 	<ul style="list-style-type: none"> ○がんばったこと、工夫したこと、友だちから手伝ってもらったことなどを発表させ、思いを伝い合えるようにする。 ○がんばりを認め合い、次の飼育活動が意欲的にできるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>生き物が住んでいた場所をもとに住みやすいすみかを考え、友だちと協力して作ることができる。</p> </div>